

由良町星空フォトコンテスト最優秀賞

タイトル:《星が降る白崎》 撮影者: mick_frame

由良町 

こんにちは!

議会です

発行/由良町議会 発行責任者/玉置 一郎

編集/議会広報編集委員会

〒649-1111 和歌山県日高郡由良町里1220-1

TEL:0738-65-1100 FAX:0738-65-0226

E-mail:gikai@town.yura.lg.jp

令和8年6月定例会

[会期]6月5日～12日

令和8年6月定例会は、6月5日から12日まで8日間の会期で開催されました。

本定例会には、報告7件、変更契約1件、条例一部改正5件、条例制定1件、人事8件、令和8年度補正予算2件の議案が提出され、すべて承認、可決、同意しました。

一般質問は5名の議員が登壇しました。

可決

令和8年度補正予算

一般会計 1億2,670万円追加 総額 47億5,370万円に
介護保険特別会計 70万円追加 総額 7億9,370万円に

【補正予算の主なもの】

由良中学校屋内運動場（体育館）のエアコン設置（※詳しい内容は、P4に掲載）

中学校屋内運動場空調設備設置事業 1億1,407万円

神谷区の祭礼備品の修繕に対する補助

コミュニティ活動事業補助金 250万円

条例制定

由良町総合計画審議会条例（※詳しい内容は、P4に掲載）

新たに町の総合計画を策定するに当たり「由良町総合計画審議会」を設置

総合計画策定の目的・内容

人口減少・少子高齢化、気候変動、AI・デジタル活用など社会環境が大きく変化する中で、本町の現状と課題を捉え、今後のまちづくりの基本的な方向性を示すため策定します。

（※策定は本年12月を予定）

本計画は、町の最上位計画となり「基本構想」及び「基本計画」で構成されます。

計画期間は令和9年度から令和18年度までの10年間です。

条例改正

由良町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法施行令等の一部改正により、国民健康保険税の課税限度額が引き上げられます。

現行の医療給付費分が66万円から67万円に引き上げられ、保険税額の限度額が109万円から110万円に引き上げられます。

また、軽減判定所得の見直しが行われ、現行の医療給付費分の5割軽減及び2割軽減対象世帯の判定所得がそれぞれ引き上げられます。

定例会

委員会

一般質問

委員会視察

契約締結

可決

町道 3-123 号線道路改良その 1 工事請負変更契約の締結

衣奈区と三尾川区を結ぶ町道 3-123 号線の道路改良工事（主に橋梁部の施工）

329 万 7,800 円を増額

問

【三上議員】変更内容について聞きたい。

頂版や仮設工は当初から計上しておくべきものだと認識しているが。

答

【地域整備課長】増額の内訳としては、主に掘削範囲の変更にともない仮設工に変更が生じたことと、頂版の追加施工です。

※頂版とは、箱式橋台の蓋の部分です。



町道3-123号線

令和 7 年度 補正予算（専決処分）

承認

一般会計 500 万円減額 総額 47 億 9,800 万円に

【補正予算の主なもの】

旧中央保育所跡地公園整備工事 763 万 2,000 円減額

財政調整基金積立金 2,770 万円増額

人事

同意

由良町農業委員会委員を
任命することに同意しました。
任期は3年です。

松村 まつむら

章弘 氏

（三尾川）

寺下 てらした

葉子 氏

（阿戸）

平林 ひらばやし

孝郎 氏

（吹井）

古曽 こそ

成樹 氏

（里）

西 にし

愛美 氏

（江ノ駒）

片山 かたやま

弘 氏

（門前）

中本 なかもと

孝洋 氏

（衣奈）

小田 おだ

義文 氏

（畑）

由良町総合計画の策定方針について

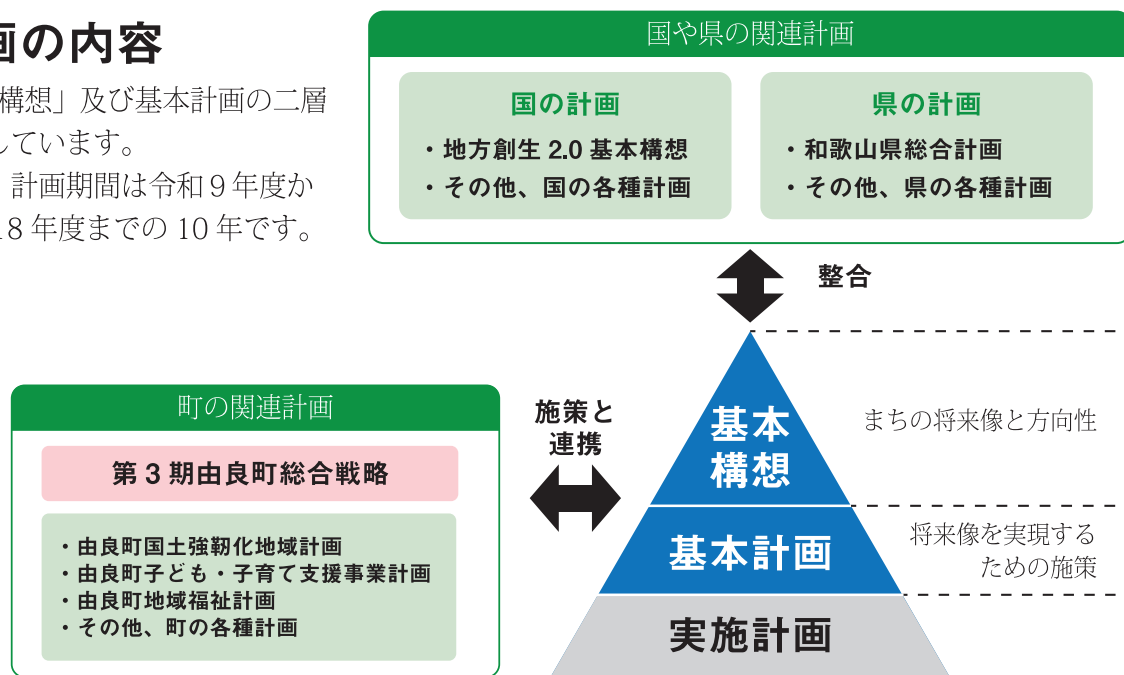
由良町総合計画は、10年を見据えた基本構想と5年ずつの前期・後期に分けた基本計画からなり、まちづくりの指針、町におけるまちづくりの最上位計画です。

中でも基本構想は町の目指す将来像を示した羅針盤であることから、町民の皆様方の意見を十分に反映させ、地域の実情や社会情勢の変化を踏まえて策定することが基本となっています。

計画の内容

「基本構想」及び基本計画の二層で構成しています。

また、計画期間は令和9年度から令和18年度までの10年です。



ええまちづくり調査研究特別委員会は、行政に対し基本構想及び基本計画に基づいた施策の確立を求め、また、住民の皆様方とともに歩むまちづくりのコンセプトを念頭に意見を出し合いました。

全員協議会（6月11日開催）

中学校屋内運動場空調設備設置事業について

今定例会、令和8年度一般会計補正予算に計上されている平成6年度に竣工された由良中学校の屋内運動場空調設備設置事業予算。

○管理業務委託料 352 万円 ○工事請負費 1 億 1,055 万円

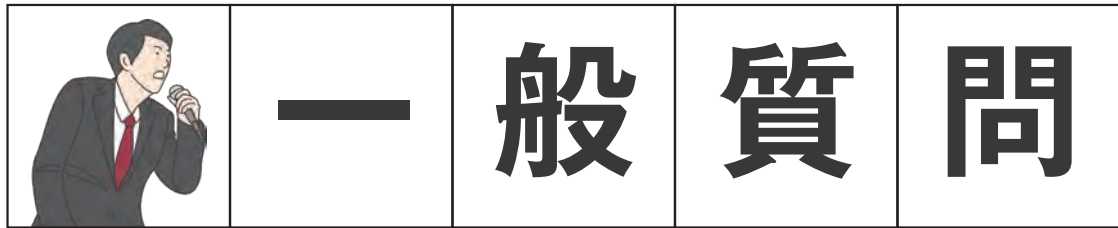
について、教育委員会から教育長、教育課長、主査出席のもと説明を受けました。

空調システムについては、ガス式と電気式的方式があり、

- ガス式は、建設コストは高くなるが、ガス代、維持管理費に関する経費については低い。
- 電気式は、建設コストは低く抑えられるが電気代が毎月かかり、その分、維持管理費は高くなる。

経済比較を試算した結果、初期費用はガス式が高くなるが、約7年で経費の差が逆転することから、有利であるガス式の設計を選択した説明を受けました。

中学校体育館の空調設備設置は、令和8年度中に完了予定です。



議員が町行政の問題などを問いただす「一般質問」は、6月11日に行われ、5名の議員が登壇し、町当局の考えについて質問しました。

- 1** 岩崎 武司議員 P 6

国道42号バイパス整備の進捗と今後の見通しは
- 2** 野田 悟 議員 P 7

1. 町道3-123号線の早期開通を
2. 第3期由良町総合戦略について
- 3** 三上 幸夫議員 P 8

1. 観光行政について
2. 町道等の管理について
- 4** 川出 純 議員 P 9

由良町の町おこしを
- 5** 森 三枝子 議員 P 10

中央公園施設内に遊具の設置を



いわさき たけし
岩崎 武司
議員

国道42号バイパス整備の 進捗と今後の見通しは

議員

水越峠の国道42号由良町畑～広川町井関間バイパス整備の事業化は、10年という長きにわたり、先人からの継続事業として今日まで運動を展開して来られました。

山名町長は諸先輩方の情熱をしつかりと受け継ぎ、近畿地方整備局をはじめ、国土交通省並びに県選出の国会議員の方々にも精力的に陳情や要望活動等、多くの働きかけを行ったことが、今回の事業化に大きく貢献していただいたと聞いております。

そこで現在の進捗と今後の見通しをお伺い致します。

町長

国道42号由良広川防災事業については、事業延長は約5km、総事業費は約410

億円とされています。

現在の進捗ですが、有識者による検討会が開催され、特にルート選定において回避しなければならない箇所がないことが確認されています。

また、地形地質状況、防災面、既設構造物への影響及び経済性等を総合的に判断した概ねのルートについて妥当だと判断されたことが、和歌山河川国道事務所から令和8年3月に公表されています。

今後の見通しですが、今年度の事業内容は、調査設計業務で5,000万円の予算が計上されておりますが、そのこと以外の詳細な情報は示されておりません。

議員

水越峠のバイパス工事が完成することにより、広川～由良間がこれまで以上にスムーズに通行できるようになり、由良町への入込客も大いに増えるのではないかと思います。

これを契機に由良町を通過するだけの町にするのではなく、観光対策や地場産業の活性化であったり、町勢浮上の絶好の機会だと思います。

そこでお伺いします。

今後、いろいろな対策も考えていかなければならないと思います。

また、由良町総合計画審議会が発足さ

れば、この審議会の中でも検討されていきますか。

総務政策課長

この度の事業完了時期が現時点においては未定であるため、令和18年度までの10年間を計画期間として策定する「由良町総合計画」に具体的な内容を盛り込むことは難しいと考えています。

ただし、この事業が地域にもたらす効果は、産業面、防災面において非常に大きなものと期待されます。

計画期間中に事業完了の時期や目途が明らかになつてきた場合には、具体的な施策を計画に追加していきたいと考えています。

議員

今回の由良町総合計画には具体的な内容を盛り込むことは難しいとのことですが、いづれにせよ、由良町にとって明るい未来が約束されたものだと思います。このチャンスを生かして、より良い町勢浮上の対策を今後行つていただきたいと思います。



至 由良町

至 広川町

国道42号（水越峠付近）

町道3-123号線の早期開通を

議員

小引、白崎海洋公園間の県道工事が進み、開通も見えてきました。

町道3-123号線の早期開通を見込めれば、広川インターから白崎海洋公園まで2車線の広い道路が開通し、観光等で由良町が発展します。

町道3-123号線の早期開通を。

町長

町道3-123号線につきましては、平成24年度から事業着手し、国の交付金をいただきながら実施しています。

当該道路は、生活面、防災面、観光面等、非常に重要な道路であると認識しており、早期完成を目指し事業を途切れることなく実施しているところです。



のだ さとし
野田 悟
議員

近年の労務費、資材費の高騰や、要求額に対して満額の国費が示されないなど、思いどおりに事業が進捗していないことから完成時期について、皆さまにお知らせすることができておりません。

しかし、事業の早期完成を願う思いは私も同じです。

今後も事業推進に努力してまいります。

議員

知事の講演を聞きました。

和歌山県の優位性を生かした取り組みで「稼ぐ観光の推進」とありました。

方法として、広域周遊、観光地域づくり、受け入れ環境の整備、自然環境の持続的な保全と活用等のお話がありました。

また、高級ホテルの進出希望が多くなっ



町道3-123号線

ており、数社から話があるそうです。

県の資料によりますと、広川町への高級旅館の進出で100人程度の雇用が生まれるとありました。

県の工事速度を見ますとすごいと感じました。

観光で由良町の発展を図るにしても道路の早期完成が必要です。議員も利用して下さい。

地域整備課長

この事業については、町が事業主体で実施している事業であり、県にも相談しながら進めているところでございます。

交付金等確保に向けて、議会のお力添えをお願いすることもあろうかと思いますが、その際は、よろしく願いいたします。

その他の質問

・第3期由良町総合戦略について



みかみ ゆきお
三上 幸夫 議員

1. 観光行政について

議員

山名町長の発案で観光推進室が設置されたが、当初の目標、目的が思い出せません。以前質問した時は、道半ばと聞きました。町長の2期目で方向性も定まって余裕ができた今の時点で、どのような実りのある成果が得られたか。また、町長の目標は達成されたか。

町長

観光推進室は、町の観光協会などの関係団体との連携をより一層図りながら、白崎海洋公園をはじめとした、自然、歴史、文化、食、体験メニューなど、町の観光資源に関する情報を、従前以上に町外・県外へ発信していくこと、また、それらの観光資源を組み合わせながら、地域広域的な連携や教育旅行の誘致

などにより、町への観光客等の入込数の増加を図り、町内の経済を活性化させていきたいと考えています。

また、観光推進室の取り組みについては、地方紙に取り上げていただいたり、SNSでの発信、町広報紙などへも掲載しながら、町のPRを行っている旨を皆様にアピールさせていただいています。

町内への観光客につきましては、令和3年から令和7年の5年間で、毎年おおむね30万人を超えるたくさんの方々が町内にお越しただいております。

私としては、これからも本町の魅力を積極的にPRし、多くの方々に本町を知っていただけるよう取り組んでまいります。

あわせて、町独自の観光振興を進めるとともに、県や日高広域で進める広域的な観光振興に取り組んでいきたいと考えています。

2. 町道等の管理について

議員

3月議会でも単独工事について質問を行った際、「国の補助金を活用し、調査結果に基づき計画的に行う」と答弁がありました。

路面の凸凹感は切実で、早期に行ってほしいのですが、町道、県道の判断がし辛く、同

じように道路維持に取り組んでくれるのか。

また、ガードレールが曲がっていたり、取り付けた看板などが錆びたり、壊れたりしている所は修繕などの管理ができていない。

観光を進めている関係上、怠っていないか。

町長

本年度に予算計上している路面性状調査は、舗装表面の劣化状況を調査するもので、調査専用車両を用いて対象道路を走行させることで、舗装のひび割れ、わだち掘れ、平坦性を測定し、その結果を基に道路の健全性を評価し、補修の必要性や優先順位を整理し補修計画を作成します。

その後、優先順位の高い路線から設計し補修工事の発注となります。

「路面の凸凹感は切実、早期に行ってほしい」とのことですが、舗装補修の早期実施の必要性は十分認識しており、計画的に取り組んでいきます。

また、ガードレールについては、事故の被害を最小限に抑え、人命を守ることを目的とした道路施設ですので、損傷等が進み安全性に支障があれば、必要な補修や修繕を行います。適切な維持管理に努めていきます。



由良町の町おこしを

議員

私は、日本酒の研究を40年以上していますが、現在、社会現象になっているのは「ジャパニーズウイスキー」で、日本国内でひそかなブームをおこしています。

この中でおもしろいのは、広島県桜尾蒸留所の「戸河内（とごうち）」で、あまり聞き慣れないウイスキーですが、何がおもしろいのかと言いますと、廃道になったトンネルで熟成させるということに話題になっています。

由良町でも廃道も資源であると考えるべきではないでしょうか。

日本酒の世界では廃道トンネルの利用は珍しくありません。

また、小引の小学生に夕陽がすばらし



かわで じゅん
川出 純
議員

いと教えてもらいましたが、由良町に住み続けていて、こんな良いものがあつたとは知りませんでした。

町全体的には、こじんまりとまとまった町ですが、まだまだ町おこしでできる資源は多くあると思います。

町長

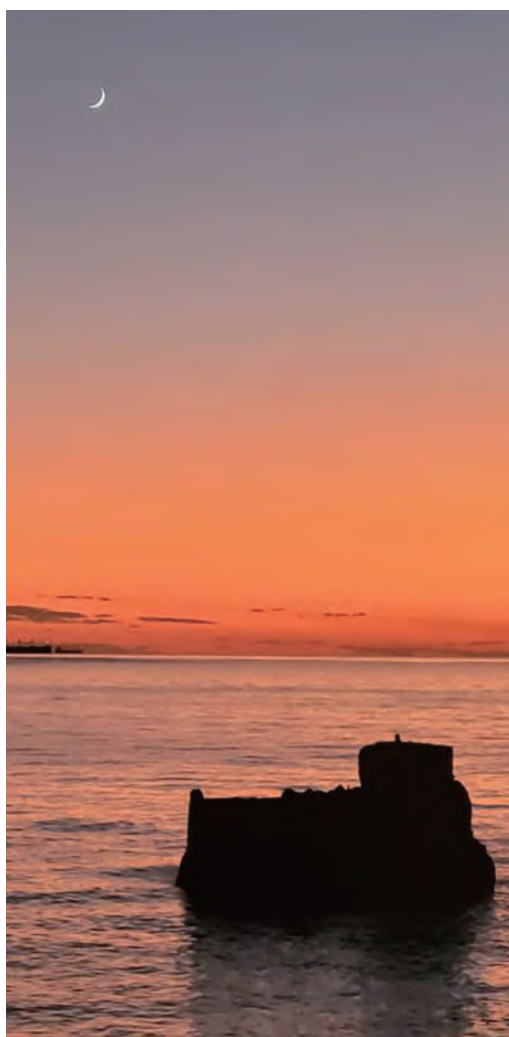
一般的に、町おこしとは、地域の経済・社会・文化活動の活性化を図り、地域の持続的な発展につなげるための取り組みであると認識しております。

地域課題の解決と、持続可能な地域づくりを実現するためには、地域の実情や特性にに応じて、観光振興、産業振興、交流人口及び関係人口の拡大、移住・定住

の促進など多様な施策を総合的、効果的に展開していくことが重要であると考えています。

また、本町におきましては、地域活性化事業として「由良町星空ブランディングプロジェクト」を進めたり、石井食品株式会社と町内の生産者を産業振興課の担当職員がマッチングし、町内産の生ニンニクを使用したハンバーガーが商品化されたり、くら寿司株式会社と由良町との間で包括連携協定を締結し、水産業をはじめ町の振興発展に向けた取り組みを進めているところです。

引き続き実現可能な町おこし事業について、県内外の成功事例等を参考にしながら、調査・研究してまいります。



由良町から見る夕陽



もり みえこ
森 三枝子
議員

中央公園施設内に遊具の設置を

議員

由良町中央公園は本年3月20日に竣工式を行い、町民に開放されています。

子どもから高齢者までの交流の場、憩いの場としての使用が推奨されています。

設備として、天然芝の広場、周囲の遊歩道、東屋、トイレ、駐車場と今まで由良町になかった広い公園ができています。

ただ、遊具もなく、利用する方が少ないように感じています。

子どもから大人までの多くの町民の方から、ただの広場にすぎないような公園ではおもしろくないとよく聞きます。

町の方からも予算が得られれば遊具を設置したいとの話をよく聞きますが、進

捗はどのようになっているのでしょうか。ぜひとも、遊具、ストレッチ器具等をそろえた公園を早く完成し、町民の健康増進、多くの子どもたちが笑顔で楽しめる場として公園施設の早急な改善をしてほしいです。



由良町中央公園

町長

遊具設置による公園施設の改善を、ということにつきましては、遊具の設置を目指しコミュニティ助成事業をはじめ、その他の補助金等についても研究してまいります。

また一方では、公園利用者から感想として「必ずしも大型遊具は必要ではない」「遊具があると見通しが悪くなり、せっかくの電車が見えるロケーションが楽しめない」といった声もいただいております。公園の完成から約3か月となりますが、公園に求めるニーズや使い方は多様であって、今後の公園のあり方についてあらゆる可能性の検討が必要だと感じています。

まずは年間を通して公園の様子を見てみるという時間も必要ではないかと考えています。



総務文教常任委員会行政視察

【日程】 令和8年4月23日

【場所】 かつらぎ町役場庁舎

【内容】 デマンド乗合交通「かつらいど」について

地域公共交通の先進事例を学ぶ

伊都郡かつらぎ町



かつらぎ町役場訪問



タクシー車両

当委員会は、高齢化社会における移動手段の確保と地域公共交通システムのあり方を学ぶため、伊都郡かつらぎ町を訪問し、デマンド乗合交通「かつらいど」について行政視察研修を行いました。

かつらぎ町では、従来のコミュニティバスが抱えていた「停留所までが遠い」「本数が少なく不便」という課題を打破するため、令和8年4月から「かつらいど」の本格運行を始動しています。

これはタクシー車両を活用し、利用者の自宅前から目的地（病院やスーパー等）までをほぼ「ドアツードア」で結ぶ予約制の相乗りシステムです。

公式 LINE やアプリ、電話を用いた柔軟な予約管理システムに加え、1回 600 円の利用料金や「月額 3,000 円で乗り放題」という定額運賃の設定、既存のコミュニティバスとの乗り継ぎ割引など、高齢者の外出を促すための住民目線の利便性が徹底されていました。

高齢化と人口減少が進む由良町においても、持続可能で利便性の高い移動手段の確立は最重要課題の一つです。

誰もが好きな時間に好きな場所へ行き、買い物や通院、通学といった日常生活に必要な移動ができるよう、外出を通じた交流の機会を創出し、心身の健康増進を図ることが大事だと感じました。

今回学んだ先進的な運行システムを調査・研究し、今後の由良町における公共交通網の維持・充実に向けた政策提言に活かしてまいります。

由良を星空のまちに

現在、由良町では、白崎海洋公園が米国のNPO団体「ダークスカイ・インターナショナル」による「星空保護区®」に認定されることを目指して取り組みを進めています。

認定されれば近畿で初となり、全国的にも、まだ数少ない星空保護区として観光振興やインバウンドなどでも大きな効果出ると期待されています。

ただ、認定には、厳格な基準に基づく照明環境の整備に加え、ソフト面においても、星空保護区についての周知、星空に関するイベントの開催、教育活動などが必要となります。そのため、時間をかけて3年後の認定を目指しています。議会としても、全面的に後押ししていきたいと思います。

これまでの取り組み

星空観賞会

当日は約40名の参加で雲が少なく、公園の展望台から満天の星空を眺めることができました。

北斗七星やオリオン座などの星座を探しながら楽しみ、白崎の星空の素晴らしさを再認識しました。



星空フォトコンテスト

認定に向けた取り組みの一環として実施し、124点もの応募がありました。県内各地に写真入りポスターを掲示し、最優秀賞を決定する一般投票も実施されました。入賞7作品は8月17日まで、由良町役場、白崎海洋公園、JR紀伊由良駅、和歌山駅、熊野白浜リゾート空港、和歌山大学で展示されています。

星空保護区予備調査

一般社団法人 星空保護推進機構による現地調査が行われ、白崎海洋公園は「アーバン・ナйтスカイプレイス（都市近郊型の星空保護区）」のカテゴリーとしての高い適性があることが示されました。



議会広報編集委員会

委員長	山本 大
副委員長	岩崎 武司
委員	山口 太志
委員	三上 幸夫
委員	川出 純



いたします。

今後ともよろしくお願

めていきたいと思いま

瞬を大切に議員活動を進

様方との出会いの一瞬一

私たち議員も町民の皆

枚に納められています。

（そら）の表情が、この1

誰も見たことのない、宙

その一瞬を切り取り、

る景色が広がっています。

ここには人間の想像を超え

夜空を見上げれば、そ

です。

で最優秀賞に輝いた写真

星空フォトコンテスト」

今号の表紙は、「由良町